

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	滋賀県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	長浜市立長浜北小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	5	5	4	4	4	6	32	43
児童数	142	161	161	129	143	127	15	878	

研究の概要

1. 研究主題

子どもたちが興味や関心を持つ学習のあり方を求めて ~算数科を窓口に~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

実施学年	： 全学年および特殊学級
教 科	： 算数科(学校として、当該教科に関する研究実績があるため)

(2) 年次ごとの計画

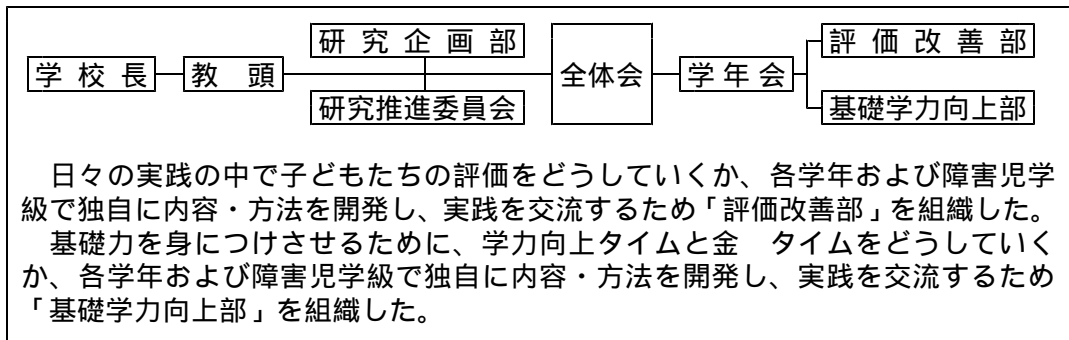
平成14年度	テーマ 子どもたちが興味や関心を持つ学習のあり方を求めて ~算数科を窓口に~ 研究の仮説 算数科に興味や関心を持って取り組ませれば子どもたちの能力は伸びるであろう。 研究の内容・方法 基礎・基本の徹底 授業改善 発展的な学習 その他 上記 ~ において、すべての児童につけたい算数的な力を授業実践をもとに全体研究の場で明確化・焦点化し、研究を深める。
--------	---

平成	テーマ 子どもたちが興味や関心を持つ学習のあり方を求めて ~算数科を窓口に~ 研究の仮説 各学年および特殊学級において、算数的な楽しさの中身を明らかにし、少人数指導の中で個の見取りと支援を工夫すれば、子どもたちはより一層の興味・関心を持ち、進んで学習し、確かな学力が身につくであろう。 研究の内容・方法
----	--

15 年 度	<p>授業改善 ・教材解釈 ・授業の流れ ・きめ細やかな指導 習熟度別少人数学習のあり方 ・発展的な学習の内容、方法 ・習熟度別集団に分ける時期、人数 基礎力の定着 ・学力向上タイム ・金 タイム その他 上記 ~ において、すべての児童につけたい算数的な力を授業実践をもとに全体研究の場で明確化・焦点化し、研究を深める。 変更の理由 研究の仮説および研究の内容・方法をより具体化した。</p>
--------------	--

平成 16 年 度	<p>テーマ 研究の仮説 個に応じた指導の中で、思考力や表現力を高める工夫を行えば、子どもたちの学習に対する興味や関心が高まるとともに、他の学習活動にも生きて働く力が身につくであろう。 研究の内容・方法 授業改善 特別活動への成果の導入 各教科における少人数指導の導入への試み その他 上記 ~ において、すべての児童につけたい力を授業実践をもとに全体研究の場で明確化・焦点化し、研究を深める。</p>
--------------------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

<p>学習を塾ですることと学校ですることの違いは、友だちとの関わりの中で学習し、その関わりの中で子どもたちが伸びることである。学校という社会性の中で、少人数という社会性の中で人間関係を深め合うとともに学習を深めていくことができた。 (6年授業研究会)</p> <p>子どもたちが相互に関係しあう、教え合う、話し合うといった刺激があった。内容的・技能的・情意的なステップをきめ細かく設定することにより、子ども自身が今どこを学習しているのかわかるとともに、さらなる意欲づけができた。 (3年授業研究会)</p>

子どもどおしが発表を通して気づき、高めあう姿が見られた。
教師集団が子どもサイドに立った授業を展開できた。 (4年授業研究会)

低学年の子どもたちでも「自分の力でする」ことに重点をおいて指導し、言葉かけによって自信をもたせれば、意欲的に取り組む姿が見られた。
(1年授業研究会)

TTから等質少人数指導、習熟度別少人数指導へ向けての道筋が少し見えてきた。2年生のステップがあることが分かってきた。
(2年授業研究会)

子どもたちの発想は面白い。子どもたちの視点で見ることの大切さ。
障害があるから人間的である。どんな人間でも、五体満足でもどこか欠けている。それを自覚してみた時、教育の基本があるといえる。そういうことを考えながら授業をすることによって生き生きと輝く子どもたちの顔が見られた。
(障害児学級授業研究会)

子どもたちを分析し、各コースでの指導に対する思いがとらえられている指導案ができ、来年度の方向性が少し見えてきた。
(5年授業研究会)

2. 今後の課題

算数科で培った力が他でも生かされるためにはどうすればよいか。
「自分の力でする」ことをどんな場面でも定着させたい。
一人ひとりの課題・多様性にどのように対応していくか。
よりよい指導案と評価計画
習熟度別少人数学習を通して、北小でとらえている学力をどのようにつけていくか。

学力等把握のための学校としての取組み

- ・ 単元ごとに総括的な評価を行い、学力定着度を把握する。 (随時)
- ・ 各領域を学習する前に学力定着度の把握を行い、習熟度別グループに分ける資料にするとともに、個に応じた指導の方針を立てる。 (随時)
- ・ 普段の授業の中で子どもたちの見取りと支援をよりよいものにするにはどうすればよいかという視点で、各学年および特殊学級において評価カードの工夫を行う。 (随時)
- ・ 長浜市立教育研究所の行う学力調査を実施する。 (年1回)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研究会・説明会等の開催実績

日時 平成15年6月16日(月)午前9時30分～

場所 本校

対象 滋賀県教育委員

目的 「ふれあい教育対談」フロンティア事業の説明・対談

日時 平成15年8月22日(金)午前10時～

場所 本校

対象 香川県丸亀市立城辰小学校 研究主任

目的 フロンティア事業の説明・対談

日時 平成15年9月30日(月)午前9時30分～

場所 本校

対 象 東京都市指導主事会
目 的 フロンティア事業の説明・授業参観・対談
日 時 平成15年11月20日(木)午後2時～
場 所 本校
対 象 滋賀県第3地区フロンティア指定校および第3地区の学校
目 的 公開授業および授業研究会・指導主事による指導講話

研究成果普及のためのHP作成・パンフレット作成等の実績および今後の予定

HP 校内研究 「主題」「主題設定の理由」他
URL <http://www.biwa.ne.jp/~nkitasho/>
E-mail nkitasho@mx.biwa.ne.jp
校内研究紀要 平成16年3月発行予定

フロンティアティーチャーとしての研究成果普及のための活動実績

日 時 平成15年8月22日(金)午前10時～
場 所 本校
対 象 香川県丸亀市立城辰小学校 研究主任
目 的 フロンティア事業の説明・対談
日 時 平成15年9月30日(月)午前9時30分～
場 所 本校
対 象 東京都市指導主事会
目 的 フロンティア事業の説明・授業参観・対談

継続校において、研究成果の普及活動の成果(他校への反響等)など特になし

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無